

- パラナ州治安情報(パラナ州政府によるパラナ保安部隊(UPS)の展開)
- パラナ州治安情報(パラナ州刑務官によるデモ集会の発生)

- パラナ州治安情報(パラナ州政府によるパラナ保安部隊(UPS)の展開)

4月13日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、パラナ州公安政策であるパラナ保安部隊(UPS: Unidade Parana Seguro)の今後の展開につき報じているところ、概要以下のとおりお知らせ致します。

1. リオのUPP(軍警察治安維持部隊)を真似たパラナ州公安政策の一つであるUPSは3段階にて計画されている。第一段階は、軍警察官、市民警察官及び市警備員により構成された治安部隊を殺人件数が高い地域に派遣し、同地区への通行規制と同時に犯罪者逮捕を行う。第2段階は、樹木伐採、街路灯、学校及び公園等の公共施設整備。最終段階は、地域住人と警察が協力しつつ地域の治安維持を図る。

なお、ボンダルキ軍警大佐は、既に作戦開始より1ヶ月を経たクリチバ市ウベラバ地区におけるUPS成果につき、信頼できる治安資料がないとして回答を避けた。

2. 今後、パラナ州政府は、本年は州内で特に治安の悪いクリチバの複数地区においてUPSを実施する予定である(本年1月から6月に1箇所、7月から12月に8箇所派遣)。なお、2014年までにはパラナ州内陸部において20から25箇所において実施する予定。また、パラナ州公安局によると派遣先等の詳細情報については、今後の成果に影響するとして公開しない予定。

- パラナ州治安情報(パラナ州刑務官によるデモ集会の発生)

4月12日付当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙は、パラナ州刑務局前においてパラナ州刑務官が、勤務時間外における護身用銃器携帯権利の即時施行を要求するデモ集会を実施した旨報じているところ、概要以下のとおりお知らせ致します。

1. デモ集会日時

4月11日 午前10時

2. デモ集会場所

パラナ州刑務局(クリチバ市カブラウ地区)

3. 主催組織名及び参加者

- (1) 主催者 : パラナ州刑務官労働組合
- (2) 参加者 : パラナ州刑務官

4. 参加者数

男女約100人

5. デモ目的

昨年、パラナ州法により勤務時間外銃器携帯(護身用)を許可されたパラナ州刑

務官は、連邦警察側の本件許可に必要である申請書類がパラナ州刑務官局より発行されない実情に対し、右権利が保障されていないとして抗議を行ったもの。

6. デモ形態

主催組織側：拡声器等

7. 今回のデモ集会による負傷者の報告はない。